

# 理科教材研究のステップ

**ステップ1** 学習指導要領や各校の方針、指導計画等を基に、単元で育成を目指す資質・能力を明確にする。

小学校では、小学校学習指導要領解説理科編の各学年の目標①～③で確認。

中学校では、中学校学習指導要領解説理科編の各分野の目標(1)～(3)で確認。

**ステップ2** 単元で育成を目指す資質・能力を基に、単元の目標と評価規準を作成する。

**ステップ3** 単元の指導と評価の計画を行う。

① 働かせる理科の見方・考え方を確認し、問題解決(探究)の過程に基づいた学習内容を設定する。

② どの学習内容で、どの評価規準に基づいて評価するか設定する。

③ 資質・能力が育成された子どもの具体的な姿を、期待する子どもの「振り返り」として具体的に描く。

**ステップ4** 授業を実践し、期待する子どもの「振り返り」と実際の子どもの「振り返り」を比較する。

**ステップ5** 子どもの「振り返り」からつまづきを見取り、学習改善や指導改善に生かす。

〈イメージ図〉



毎時間の学習に、必ず「振り返り」を設定し、子どもが学びを振り返ることができるようにしましょう。



資質・能力に応じた「振り返り」の視点を設定して、子どもの学習改善・指導改善につなげましょう。



短いスパンで検証改善サイクルを回すことで、資質・能力を確実に育成していくようにしましょう。